

2010年7月号 外

民主党プレス民主編集部

〒100-0014

東京都千代田区永田町1-11-1

電話03-3595-9988 (代表)

press@dpj.or.jp

http://www.dpj.or.jp

民主党参議院比例区第37総支部代表

大島 九州男 特集号

〒822-0022 福岡県直方市知古 764-1

☎0949-22-0576 / FAX0949-24-3110

http://KUSUO-O.NET

元気な日本を復活させる。

新しい日本へ

昨年の総選挙では、国民の皆様の英断によって、日本の民主主義の歴史に残る政権交代を実現することができました。その背景にはバブル崩壊以降、長期にわたってわが国を覆っている閉塞感、将来への漠然とした不安があったと私は受け止めています。この閉塞感を吹き飛ばし、未来に対して希望を持つことができる、新しい日本を始動することが新政権に与えられた最大の使命です。

「第三の道」

この閉塞感を吹き飛ばすため、私は「第三の道」を選択します。それは、過度に財政に寄りかかった手法でもなく、過度に競争に偏った手法でもない、経済、財政、社会保障を一体として捉える経済政策です。



「第一の道」は公共事業中心の経済政策であり、それは高度成長期には時代にあっていましたが、その後は巨額の財政赤字を積み上げることとなりました。「第二の道」は偏った市場原理主義に基づく経済政策であり、それはデフレを長期化させ「企業は社員をリストラできて国は国民をリストラできない」という根本的な問題を放置したため、国民生活は極端に不安定になりました。

政治のリーダーシップを欠いたまま、産業構造や社会構造の変化に対応できていない政策を続けた結果、経済の長期低迷、財政赤字の拡大、社会保障の不安定化が進みました。こうした過去の失敗に学び、新政権は「第三の道」に取り組みます。わが国が抱える環境問題や少子高齢化など、喫緊の課題への解決策。急速に成長するアジア、国内の資源を活かせる観光分野などへの積極策。これらが生み出す大きな需要に応えることで雇用を拡大します。そこから経済の拡大（強い経済）、財政の再建（強い財政）、社会保障の充実（強い社会保障）という好循環をつくり出します。日本の閉塞感は政策が招いたもの。だから、政策で吹き飛ばすことができます。「第三の道」こそが、その政策であると、私は確信しています。

第94代内閣総理大臣 菅直人

第22回参議院選挙 7/11投票日



参議院選挙公示直前の6/18～19、6/21の3日間、大島九州男参議院議員は、民主党応援キャラバンを編成し、仲間の応援に九州の北西部を駆け回り、支援の輪を広げていただく活動を行いました。

この日は、前日に民主党マニフェストが発表されたばかりでしたので、民主党の政策を訴え仲間の支援を強く訴えました。

キャラバン隊は福岡市内を皮切りにスタートし、久留米市、熊本市、八代市、佐賀市、唐津市、佐世保市、諫早市、北九州市内、田川市、飯塚市そして宮若市と総走行距離 1027km の遊説活動でした。各地では、地元選出の国会議員や国会議員の事務所の方々も応援に駆けつけて頂き一緒に活動を行いました。



<佐賀市内・唐津駅前>

川崎稔参議院議員と



<熊本市内・八代駅前>

松野信夫参議院議員と



<諫早駅前>

福田衣里子衆議院議員・
大久保潔重参議院議員と

大島九州男 政治活動20周年



6月6日、故郷の福岡県直方市において「大島九州男-政治活動20周年を祝う会」が開催されました。

1991年4月21日、29歳で福岡県直方市議会議員に初当選。以来市政にて3期12年、国政へのチャレンジを経て、現在参議院議員として働かせて頂いております。

これも、地元の皆様をはじめ、多くの方々に支えられて、ここまで頑張ってくる事ができました。

20年という1つの節目を迎え、今後も国民の目線に立った政治家として、触れ合う皆様と今から出会う皆様に、感謝を忘れずに政治活動を続けて参ります。暑い中、多くの方にご参集を頂きありがとうございました。

6/24公示 参議院選挙選スタート

いよいよ選挙戦がスタートしました。

横浜で全国比例区の「藤末健三-候補」の出陣式に出席したあと、地元福岡に戻り福岡県選挙区・現職の「大久保勉-候補」の第一声式に出席。昨年の「政権交代」を「政権安定」にするため、全力を尽くすことを誓い、応援挨拶をさせていただきました。

